

骨董市



先日、地元で定期的開催されている骨董市に行ってきました。地域の活性化を目指し、私が学生時代の頃から始めました。古銭や古ガラス、生活日用品など、出品物は様々です。他県から足を運ぶ人もいようで、活気に満ち溢れた会場でした。写真は、撮影を快く許可してくださったご夫婦の出品物です。日本酒を江戸切子のぐい呑みで飲む姿を想像し、大人になったなあと考えていました。購入まで秒読みですね。（中村）

「令和6年分所得税の定額減税」の特設サイトが開設されました

「令和6年度税制改正大綱」で、岸田内閣が先に掲げた、令和6年分の所得税額から一定額が控除される定額減税が盛り込まれました。法案が成立すれば、給与所得者については**令和6年6月1日以後最初に支払う給与等についての源泉徴収を行う際から実施**されることとなります。**金額は、1人あたり3万円、同一生計配偶者および扶養親族がいる場合は1人につき3万円の合計額**です。

◆定額減税特設サイト

法案成立前でも、給与計算担当者(源泉徴収義務者)が早期に準備に着手できるよう、国税庁は特設サイトを設け、1月30日に各種パンフレット・資料等を、そして2月5日にQ&Aを公表しました。

今回の定額減税は、給与計算実務に直接の影響がある内容ですので、資料やQ&Aを参考に、あらかじめ手順を確認しておくといでしょう。

【国税庁「令和6年分所得税の定額減税のしかた」】

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/0023012-317.pdf>

【国税庁「令和6年分所得税の定額減税Q&A」】

<https://www.nta.go.jp/publication/pamph/gensen/0024001-021.pdf>

続く売り手市場、最近の学生の就活状況～厚生労働省就職内定状況調査より

いよいよ3月卒業の学生等が新入社員として働き始める時期が近づいてきました。今春卒業予定の学生等の就職状況はどうだったのでしょうか。

厚生労働省と文部科学省が公表した、令和6年3月大学等の卒業予定者の就職内定状況調査(令和5年12月1日現在)によれば、大学生の就職内定率は86.0%(前年同期比1.6ポイント上昇)となっています。

また、短期大学の就職内定率は66.7%で同2.7ポイント低下となっているものの、高等専門学校および専修学校(専門課程)の就職内定率は、それぞれ97.8%(同1.2ポイント上昇)、73.2%(同3.4ポイント上昇)と、売り手市場が続いている状況が見てとれます。

◆学生の困り込みのためのオヤカク

学生優位の売り手市場において、企業側も内定者の困り込みに必死になっています。最近では、内定辞退等を防ぐため、**就職希望者の親に入社や内定の承諾を確認する「オヤカク」**などの広がり等が多く報道されているところです。

深刻化していく人材確保の問題に対応すべく、自社における採用活動のあり方を、より一層検討していく必要があるでしょう。

【厚生労働省・文部科学省「令和5年度大学等卒業予定者の就職内定状況調査(令和5年12月1日現在)」】

<https://www.mhlw.go.jp/content/11805001/001197583.pdf>

外国人労働者数が初の200万人超え～厚生労働省のまとめより

厚生労働省は1月26日、令和5年10月末時点の外国人雇用についての届出状況の取りまとめを公表しました。国内で働く外国人は昨年10月末時点で前年と比べ12.4%増えて、**204万8,675人に上り、平成25年から11年連続で過去最多を更新**しました。外国人労働者の増加率はコロナ禍前の水準にまで回復しています。また、比較可能な平成20年以降、**200万人を超えるのは初めて**です。

◆外国人労働者数は過去最高を更新

外国人労働者数は204万8,675人で、前年比で22万5,950人増加し、届出が義務化された平成19年以降、過去最高を更新しました。対前年増加率は12.4%と、前年の5.5%から6.9ポイント上昇しています。

◆国籍別では、ベトナムが昨年同様に最多

国籍別では、ベトナムが最も多く51万8,364人で、外国人労働者数全体の25.3%を占めています。次いで中国39万7,918人(全体の19.4%)、フィリピン22万6,846人(全体の11.1%)の順となっています。対前年増加率が高かったのは、インドネシア(56.0%増)、次いでミャンマー(49.9%増)、ネパール(23.2%増)の順となっています。

◆在留資格別では、「専門的・技術的分野の在留資格」が前年比最多の増加率

在留資格別では、「**専門的・技術的分野の在留資格**」が対前年増加率として**最も大きく59万5,904人**で、前年比11万5,955人(24.2%)の増加、次いで「**技能実習**」が41万2,501人で、前年比6万9,247人(20.2%)増加、「**資格外活動**」が35万2,581人で、前年比2万1,671人(6.5%)の増加でした。

【厚生労働省「外国人雇用状況」の届出状況まとめ(令和5年10月末時点)」】

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_37084.html

『静かな営業「穏やかな人」「控えめな人」こそ選ばれる30の戦略』 渡瀬 謙(著)

タイトルに興味をわきAmazonオーディブルで視聴。今の自分でやっているスタイルに似ていました。土業は営業が苦手な人が多いのですが、私も独立当初は苦手意識があり、クロージングが不得意でした。色々と考えて実践する中で考えが変わったのは、営業を「売り込み」と考えていた部分を、ある時、営業の本質は「相手の悩みや問題を解決すること」と自分の中で再定義したことでした。この考えが変わってからのやり方である、相手の話をよく聴く。ニーズや願望を把握する。といった当たり前ではありますが大事なことが本書にも書かれていました。自分がしゃべらず、わかりやすい資料を作成し、資料に説明してもらう、という点もやっぱりそうだな、と再確認。誰だって、売り込まれるのは嫌なものです。

